



士別ロータリークラブ会報

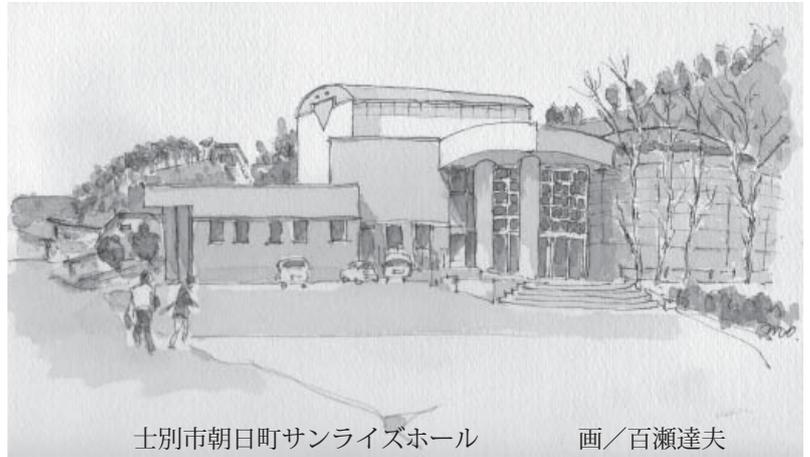
創立 1960・3・24 RI 第 2500 地区

Vol. 025 No. 2167



率先しよう

2006～2007 年度 RI 会長
ウィリアム ビル・ボイド



士別市朝日町サンライズホール

画/百瀬達夫

第 2246 回例会 2007 年 2 月 5 日 (月)

本日のプログラム

・普通例会・理事会

例会場/士別グランドホテル
例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
事務所/士別グランドホテル

TEL 0165-23-1234

会長/大塚 勝人
副会長/野崎 英男
幹事/菊地 博

■前回(1月29日、月曜日)の記録■

・夜間例会

司 会 若森 孝 会場監督
齊 唱 それでこそロータリー
本日の出席 出席率 100% 会員 67 名中 出席者 67 名
本日の欠席 犬伏彰吾、扇谷雅樹、河原賢治、北村浩史、國森和麿、西條輝光、齊藤 進、
坂野虎溪、佐藤元保、谷 温恵、中川涼一、南部哲男、福島栄三、藤吉敏博、
吉川紀雄、武田 修、宮田喜久三郎

メーカーアップ
ビジター
ゲスト
ニコニコBOX

累計 209,000 円

例会予定

2月・世界理解月間・ロータリー創立記念

2月 5日 (月) 普通例会・理事会
2月 12日 (月) 休会(振替休日『建国記念日』)
2月 19日 (月) 普通例会(2/23ロータリー創立記念日)
2月 26日 (月) 夜間例会

3月・識字率向上月間

3月 5日 (月) 普通例会・理事会
3月 12日 (月) 普通例会
3月 19日 (月) 普通例会
3月 26日 (月) 士別 RC 創立記念日例会(夜間)

■会務報告 大塚勝人会長

●本日この会場に来る前に新聞を見ていますと泉谷勇会員の息子さんがスキーで素晴らしい活躍をしているようで、先日の大会で優勝し今度は全国大会その後、国体にも出場が決まっているようです。頑張ってくださいと思います。

●本日、会長だけに配布されていますロータリーワールドを持ってきていますので、各テーブルに回しますので、読んで頂きたいと思えます。

●全国でも有名なアパホテルの女性社長、何時も帽子をかぶりテレビに出ているのですが、その方が経営する京都のホテルが、構造計算書を偽装した疑いで使用禁止となりましたが、報道によりますと中規模程度の地震で壊れる、まさに人命に係わる大きな問題を見つからなければよいと言う、利益を優先した大きな企業の考え方が公になっています。内部告発で表面化した不二家製菓にしても企業ぐるみで行っている、パロマ工業のガス瞬間湯沸し器の一酸化炭素中毒事故も、昭和60年から28件の事故があり21名の尊い命が失われています。その大半が事故直後に社長、幹部に報告されていたのに、抜本的な対策をとらなかった。私達ロータリークラブにとって職業奉仕は責務であります、ロータリーの四つのテスト、

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

この簡単な四つの設問を考えると、大きな企業が起きている事故はありえないと思えます。この様なことが私達の問題にならないよう気をつけましょう。

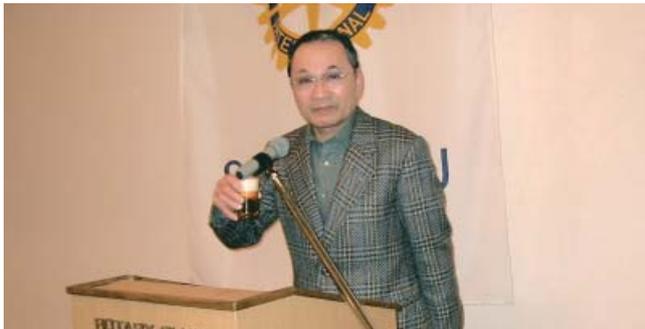
■幹事報告 菊地 博幹事

①社団法人士別青年会議所千葉洋介理事長より、青年会議所新年交礼会ご出席並びにお祝いに対するお礼状が届いております。

②ガバナー事務所より2月のロータリーレートのご案内が届いております、2月のレートは、1月と同じで、1ドル118円です。

③職業奉仕委員会藤吉委員長より、本日例会都合により欠席を致しますが、1月22日例会終了後の職場訪問の実施に対しまして、参加を頂きました会員の皆様、並びに職場訪問を引き受けて頂きました中村徹雄会員に有り難う御座いましたとお伝え頂きたいとの伝言が御座いましたのでお知らせ申し上げます。

★2007年、最初の夜間例会と言うことで、野崎副会長の乾杯で夜間例会のお食事が始まりました。



2007-08 年度 R I テーマ決定



ロータリーは 分かちあいの心

全世界からガバナーエレクトがアメリカ・カリフォルニア州に集まり、2007年国際協議会が始まりました。第1回本会議は、1月29日午前9時に開会、ウィリアム B. ボイド国際ロータリー (R I) 会長が「この1週間、皆さまにはさまざまな活動、挑戦、そして友好というものが待っています。皆さまは、すでにロータリーの四大奉仕部門で活動をなさってきました。中には、経験の浅い方もいらっしゃると思います。しかし、この1週間、どうぞお互いを支援しあってください。私たちは、皆さま方が、来年度1年間、リーダーシップを発揮できるようにお手伝いをさせていただきます。ここにいらっしゃる皆さまは、素晴らしいリーダーとなり得る方々です。サンディエゴを楽しんでください。2007年国際協議会を楽しんでください。そして、何よりもご自身を楽しんでください。ここにいらっしゃる時間を有意義に過ごしてください」と温かく迎えました。プログラムはロータリー加盟国の国旗入場に移りました。中には、R I 研修リーダーたち、R I 理事会メンバーの紹介、元R I 会長の紹介に続いて、いよいよ第1回本会議のクライマックス、2007-08年R I テーマ発表のときを迎えました。満場の拍手で迎えられたウィルフレッド J. ウィルキンソンR I 会長エレクトは、「ロータリーというのは、本当すごいものです。私は、44年もの長い間ロータリアンであり続けましたので、ロータリアンとして慣れっことなってきました。そこで私は、時々、ロータリーがいかに素晴らしいものであるかを思い返す機会と自分に与えています。私たちが長い間ロータリーに在籍している間に、時々こういう時間をもつというのではないかと思います。ロータリーは何なのかということをお問自答していく機会です」と話を切り出しました。「私たちは最善を尽くして、世界を変えようと思っているのです。これはかなりいい答えですが、それだけで言い尽くせるのでしょうか。ロータリーは私たちにとって、私個人にとって何を意味しているのでしょうか。ロータリーはまさしくマジックそのものです。私のような、カナダ出身の公認会計士が今までに思ってもみなかったことができるようになったのです」と、その例を挙げながら話しました。そして、「ロータリーというのは平凡な人間を非凡な人にする、というマジックもっている組織です」と続けました。「ロータリーというのは、人類がほかの人間に対して、心優しさ、または愛の心を投げかけるチャンスを与えてくれているのです。私たちはクラブ奉仕で分かちあっています。私たちは愛の心を職業奉仕を通じて分かちあっています。専門技能やいろいろな能力をもって職業奉仕をさらに強めていくのです。社会奉仕は、ロータリーの心です。私たちはまず自分の家庭に責任をもちます。そこから地域社会に尽力します。そして、私たちは国際奉仕で愛を分かちあっています。国際奉仕はロータリーの目のようなものです。ニーズのあるところで支援をして、自分一人の力でできないことは、ほかのロータリアンと一緒に支援をします。私たちは、青少年に奉仕をすることで愛を分かちあっています。青少年というのは、私たちの未来です」と述べました。

「これから1年、ビル・ボイド会長が強調された、水保全、保健・飢餓救済、そして、識字率向上を引き続き強調していきたいと思えます。そして、ロータリー家族ということも引き続き強調していきたいと思えます」と、継続性を示しました。

2007-08年度のテーマはROTARY SH A RES (ロータリーは分かちあいの心) です」と、テーマを発表し、それと同時に会場内は拍手に包まれました。

http://www.rotary-no-tomo.jp/jpn/07_in_ass/29_lprs.html、より抜粋。